

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

3月定例会

3月14日(木)、当所にて会員6名、オブザーバー2名、和光大学学生5名の参加者を得て、3月定例会を開催した。

今回は、当会のメンバー和光大学経済経営学部 小林猛久氏のゼミナール4名の学生により、「和光大学産学連携事例報告～岡上エール（クラフトビール）の完成と今後の市場展開～」と題し講演が行われた。

同ゼミナールは、地域企業や農家と連携し、生産、加工、販売を一貫して行う6次産業化に取り組んでいる。講演ではクラフトビールの定義、日本における発展や市場の変遷といった概要説明の後、実際に学生が作ったクラフトビール「岡上エール」についての説明があった。地場産物である禅寺丸柿を使用して、まずはジュースを試作したところ、柿50個を使い2本しかできなかった苦労話や、他、ブルーベリーやレモンなど柑橘系を使ったクラフトビールは、色や香りもよく、ゆっくり楽しむ飲み方を提唱するなど、ビールの新たなイメージも語られた。質疑応答も活発に行われ、有意義な定例会となった。その後行われた交流会では、レモンを使った岡上エー



ゼミナール学生4名の講師による講演

ルやドライフルーツもテーブルに並び、ゼミナール学生と会員との交流も大いに図られた。

3月勉強会

3月7日(木)午後6時30分より、ミュウザ川崎会議室にて、会員11名の参加者を得て、3月勉強会を開催した。今回は、英語コミュニケーションコンサルタント・エグゼクティブコーチ 中野敬子氏を講師に迎え、「時間がない!とにかく忙しい社長のためのコーチング×英語」と題し、講演頂いた。講師のコーチング経験から、失敗と成功を分けるポイントを挙げられ、目標（ゴール）達成への道を探った。成功例として、世界的ミスコンテストのひとつ「ミス・グランド・インターナショナル2018」で日本代表として過去最高の5位に入賞された方の例を挙げ、コーチングで何をなされたか分かりやすく説明頂いた。続いて、英語学習について、忙しい中でマスターするための秘訣を具体的に挙げられ、英語での1分間自社紹介にもトライした。

講演は即実践できるような具体的な内容で、質疑応答も活発で好評を博した勉強会であった。



交流の様子

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191